（別紙）

第 9 回 北海道で考える北東アジア国際情勢シンポジウム開催要領

１．趣旨

2017 年 1 月に就任したトランプ大統領は、3 回にわたり米朝首脳会談を行い、中国との対決姿勢を示した「貿易戦争」など、北東アジアに大きな影響を与えた。そうした政策の半ばで、2021 年 1 月にバイデン新大統領が就任した。そこで、今回のシンポジウムでは、これまでのトランプ政権の北東アジア政策を総括するとともに、新しく発足したバイデン政権の北東アジア戦略を展望しながら、今後の日本の北東アジアにおける役割について考える。

２．テーマ案　「トランプからバイデンへ～米国の北東アジア戦略を考える～」

３．日時　　２０２１年３月１５日（月）14:00～16:00

４．形式　　ZOOM のウェビナーによる開催

５．主催　　公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター（HIECC）

６．後援　　北海道、北海道経済連合会、北海道新聞、北東アジア学会ほか

７．内容・タイムテーブル案

(1) 主催者開会挨拶

(2) 基調報告〔各 20 分〕　14:10～15:10

① 三村　光弘　環日本海経済研究所主任研究員　北東アジア学会会長
「米国の対中国政策と日中関係を考える」

② 池　　直美　北海道大学公共政策大学院専任講師
「米国の対韓国政策と日韓関係を考える」

③ 川口　智彦　日本大学国際関係学部准教授
「米国の対北朝鮮政策と日朝関係を考える」

【休憩】15:10～15:20

(3) ディスカッションとまとめ　（会場との質疑応答含む）　15:20～16:00
コーディネーター：　高田喜博　ハイエック客員研究員

(4) 閉会